

日本のデータサイエンスを牽引する
リーダーを育てるdot.bの魅力と可能性について
主要運営メンバーに話を聞きました。



詳しくはこちら



京都大学医学部附属病院
医療情報企画部

教授 黒田 知宏

座学だけでは得られない体験をdot.bで。

日本の医療の発展と健康長寿時代の実現につながる新しい社会のしくみづくりを、医療データを利活用して積極的に主導できる人材の育成を目的としています。



京都大学医学研究科
社会健康医学系専攻健康情報学

教授 中山 健夫

社会健康医学にとっても身近なデータサイエンス。

dot.bでは医療データを正しく扱うことを学びますが、社会健康医学の知識は、dot.bで医療データを扱う方法や基本として大いに役立つでしょう。



京都大学国際高等教育院附属
データ科学イノベーション
教育研究センター

教授 田村 寛

データサイエンスのサイクルを体感して欲しい。

dot.bでは、病院を舞台にして、実際の社会からデータを取ってきて、集積し、貯まったデータを分析して、それを社会に還す、というサイクルをまんべんなく体感できるのが大きな魅力だと考えています。



京都大学医学部附属病院
病床運営管理部

病院教授 加藤 源太

現場のリアルを知る機会として活用を。

データと向き合う際に、現場のリアルを知ることが生み出される医療データを深く理解することにつながり、大きなプラスになることを感じていただけたらと思います。



京都大学国際高等教育院附属
データ科学イノベーション
教育研究センター

特定講師 植嶋 大晃

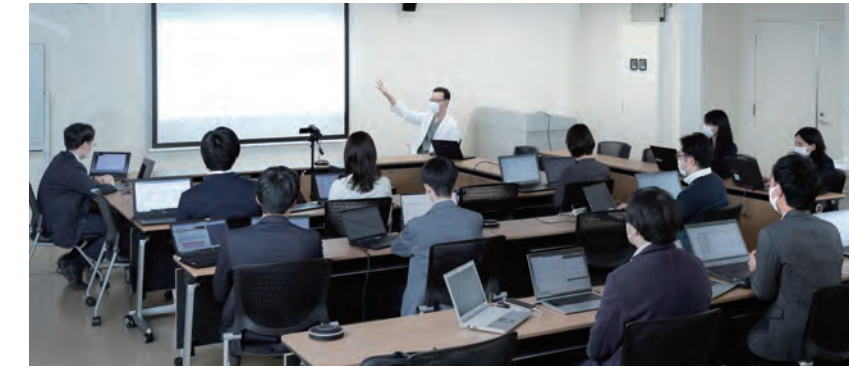
視野を広げ、データを見る目を養う場に。

医療データの講義の際に、ケアの観点をうまく伝えられるように心がけています。また、データや結果を見ると、絡めては見誤る因果が意外にあります。そうした見る目を、dot.bで養って欲しいと思います。

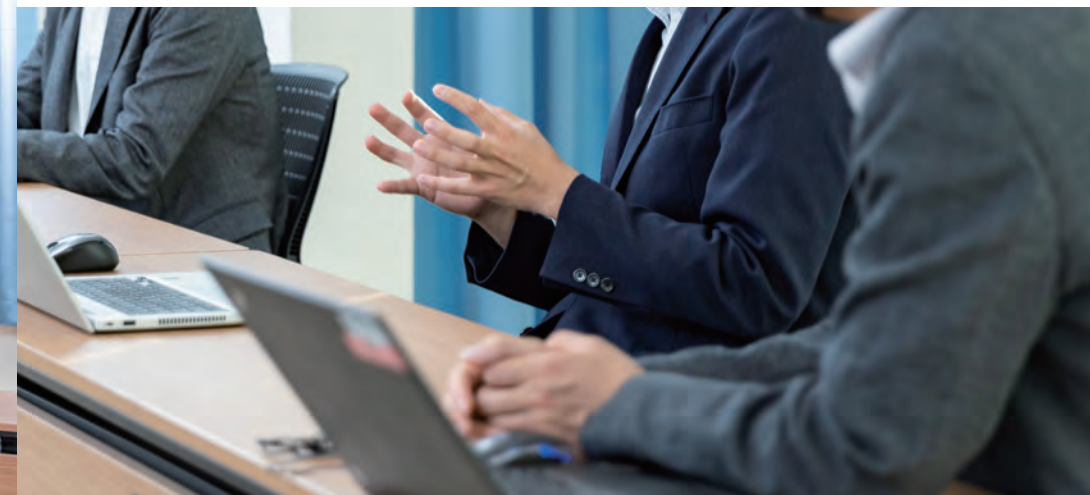
INTENSIVE COURSE

dot.b

医療データ人材育成拠点形成事業ビジネス特化型インテンシブコース



医療データ分析に必要な
知識や技術を学ぶ



INTENSIVE COURSE

dot.b



KUEP-DHI（関西広域 医療データ人材教育拠点形成事業）の一環として、医療データの活用に造詣のある人材を育成することを目的とした民間企業向けのインテンシブコースで、賛助頂いた企業との共同研究という位置付けで実施します。賛助頂いた企業から参加者を派遣して頂き、事務局が選定する京都大学大学院科目の履修や、所定の講義および実習・演習への参加を通し、医療データ分析に必要な知識や技術を学んで頂きます。



コースの内容	
コンテンツ	到達目標
医療データの概要と背景	医療データを理解する
疫学・統計学	分析の理論・手法を理解する
論文の読み方	分析結果を適切に解釈する
内科診断学	基本的な医学知識を習得する
病院診療の最前線	各診療科で行われる治療を知る
京都大学での先端研究	最先端の研究に触れる
分析の基礎 (R, SQL)	データの扱い方を身につける
院内診療科・部門の見学	医療の現場を肌で感じる
電子カルテの模擬的操作	医療データの生成過程を体験する
模擬的な研究の立案	研究をマネジメントする
国のレセプトデータ (NDB) 分析	実際の医療データを分析する

コースの流れ	
4月	コース開始 講義: 医療データの概要と背景、疫学・統計学
5月	講義: 論文の読み方 実習: 分析の基礎 (R, SQL)
6月	講義: 内科診断学 実習: 病院見学・電子カルテの模擬的操作
7月	講義: 病院診療の最前線 実習: 院内診療科・部門の見学
8月	講義: 京都大学での先端研究 実習: 模擬的な研究の立案
9月	実習: 国のレセプトデータ (NDB) 分析 コース終了



VOICE 01

コース終了までの半年間はどうか？
私は医療の知識が乏しかったため、難しいと感じる部分も多く復習の時間は多く要しました。会社が基本的に専任させてくれたことでコースに集中できたこと、先生方に授業や質疑応答で丁寧にご教示いただけたことで、忙殺されることなくしっかり学ぶことができました。
(京セラ株式会社 西出 悠人 2022年度 第3期dot.b参加者)

VOICE 02

コース終了までの半年間はどうか？
コースと業務の両立はハードなところがありましたが、オンラインがベースであり、出席できない講義も録画を後から観ることができたので、業務の都合に合わせて参加できたのがありがたかったです。もし、業務を減らすことができないから参加しないというなら、非常にもったいないと思います。先生に相談すれば柔軟に対応して下さるので、まずは相談していただきたいですし、ぜひ参加して欲しいです。半年間はハードでしたが、それ以上に価値のある経験だと思います。
(株式会社NTTデータ 松岡 歩 2022年度 第3期dot.b参加者)



向学心にあふれた
皆さんらしい参加後の
手応えや感想を伺いました

VOICE 03

受講前後で感じるご自身の変化は？
臨床現場という普段はアクセスできない領域を知ることができたことは、私の視野をさらに広げてくれたと思います。もう一点挙げるとすると、やはりナショナルデータベースを実際に触ったことでしょうか。ナショナルデータベースは日本人の人口の98%以上をカバーしている大きなデータですが、dot.bに参加したおかげで、肌感覚でそのデータに触れるようになったことは、コースへの参加前後での大きな差だと思います。
(ヤンセンファーマ株式会社 岩堀 敏之 2022年度 第3期dot.b参加者)

